

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果(公表)

公表:令和 2年 3月 9日

事業所名 Kid's Club

保護者等数(児童数) 11名(内、兄弟1家庭)回収数 10名 割合 100%

※各欄に合計数を記入してください。

	チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	10				何人いるのか名前を 教えて欲しいです。	新年度スタッフ写真を配布し ておりますが掲示するように 致します。
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	6	2		2	送迎はあってくれると ありがたいです。	送迎が出来るように新年 度、職員を配置致しまし た。
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設 置などバリアフリー化の配慮が適切になさ れているか	9			1		
適切 な支 援の 提 供	4 子どもと保護者等のニーズや課題が客観 的に分析された上で、放課後等デイサービ ス計画*1が作成されているか	10					
	5 活動プログラム*2が固定化しないよう工夫 されているか	8			2		
	6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障 がいのない子どもと活動する機会があるか	1	2	2	5	デイの役割としてそこ は求めています。	
保護 者等 への 説 明 等	7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な 説明がなされたか	7	3			活動スケジュール月 間であると助かりま す。	月の予定をお伝えでき るよう工夫致します。
	8 日頃から子どもの状況を保護者等と伝え合 い、子どもの発達の状況や課題について共 通理解ができていますか	9	1				
	9 保護者等に対して面談や、育児に関する助 言等の支援が行われているか	8	1	1		定期的に面談をして 欲しいです。	年に4回、計画的に 行います。
	10 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開 催等により保護者等との連携が支援され ているか	3	3		4		
	11 子どもや保護者等からの苦情について、対 応の体制を整備するとともに、子どもや保 護者等に周知・説明し、苦情があった場合 に迅速かつ適切に対応しているか	7			3		
	12 子どもや保護者等との意思の疎通や情報 伝達のための配慮がなされているか	9	1				
	13 定期的に会報やホームページ等で、活動 概要や行事予定、連絡体制等の情報や業 務に関する自己評価の結果を子どもや保 護者等に対して発信しているか	4	1	1	4	ホームページやお便 りなどで日ごろの活 動の様子を知りたい です。月間予定があ ると良いです。	ホームページを活用 してお知らせしたい と思います。
14 個人情報に十分注意しているか	8			2			
非常 時 等 の 対 応	15 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感 染症対応マニュアルを策定し、保護者等に 周知・説明されているか	9	1				
	16 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救 出、その他必要な訓練が行われているか	1	2		7		
満 足 度	17 子どもは通所を楽しみにしているか	9	1				
	18 事業所の支援に満足しているか	9	1			お出かけしたり色々 な体験をさせて欲し いです。送迎の人員を 確保して欲しいです。	なるべく体験が増 えるように心がけま す。

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)」は、保護者等の皆様に「保護者等向けアンケート」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表: 令和2年 3月 9日

事業所名 Kids Club

	チェック項目	はい	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	6		
	2 職員の配置数は適切である	6		
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	6		
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	6		
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	6		
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	5	1	一年に一度HPで公表し掲示もしているが職員への年度途中に採用した職員へ周知徹底する。
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		6	第三者評価は実施していないが視察や見学研修を通して広く意見を伺うようにしている。今後検討する。
8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	6		例年よ入りも研修参加が少なかったので職員の研修の機会を増やしたい。	
適切な支援の提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	6		
	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	6		
	11 活動プログラムの立案をチームで行っている	5	1	正職員で行っているが準職員へも活動計画案を配布する。
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	6		
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	6		
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	6		
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	6		
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	4	2	活動終了後は送迎があるため打ち合わせが行えないので会議開催を増やす。
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	6		
	18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	6		
19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っている	6			

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	6		
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	6		
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	6		
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	6		
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	6		相談員を介した会議に参加し、情報共有、提供をしている。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	6		
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	4	2	兄弟との交流はあるが、他の児童との交流も子供たちの負担の無い範囲で行えたらよい
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	5	1	児発管は参加したが常勤職員の参加も出来るようにする。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	6		
保護者への説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	6		
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	6		
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	6		送迎時や電話での対応が主であり、必要に応じて面談してきたが、保護者からの要望もあったので今後、面談の機会を増やしたい。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	6		
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	6		
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	6		
	35	個人情報に十分注意している	6		
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	6		
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	5	1	

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	6	
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	6	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	6	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	6	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	6	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	6	

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。

保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)

事業所名 Little Kid's Club

保護者等数(児童数)18名 回収数 18名 回収率 100%

※各欄に合計数を記入してください。

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されている	18					
	2	職員の配置数や専門性は適切である	18					
	3	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	16	2				
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	18					
適切な支援の 提供	5	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されている	17	1				
	6	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	18				個人に合った目標を設定し成長に繋がった。	
	7	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	18					
	8	活動プログラムが固定化しないよう工夫されている	17	1				
	9	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	10	3	2	3		
適切な支援の 提供	10	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされた	18					
	11	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされた	16	2				
	12	保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)が行われている	15	2		1		
	13	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	18					
	14	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われている	17	1			日々変化に合った助言がもらえている。	面談の回数を増やし、相談できる環境を作ります。
	15	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されている	9	7	1	1	10月からの利用の為保護者会等、保護者同士の連携がまだよくわかりません。	保護者間の関わりが増え子育て共有できるよう集まれる機会を増やします。
16	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されている	17	1					

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
	17	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされている	18					
	18	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されている	12	2	2	2		ホームページの活用が出来るようにします。
	19	個人情報の取扱いに十分注意されている	16	2				
非常時等の 対応	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されている。また、発生を想定した訓練が実施されている	16	1		1	インフルエンザ、コロナの対応、対策がとても速い(2件)	マニュアルを配布しておりますが、説明したり、不明な点はいつでも相談対応させていただきます。
	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われている	11	3		4	利用開始したばかりなので分かりません	年に2回以上行っております。
満足度	22	子どもは通所を楽しみにしている	18					
	23	事業所の支援に満足している	18				・子供の成長にとても満足している(2件) ・発達検査をしてもらえるともっと良い。	社会生活能力検査(SM式)を保護者の方と一緒に進められるようにします。

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)」は、保護者等の皆様に「保護者向けアンケート」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。

事業所における自己評価結果(公表用)

公表:令和2年 3月 9日

事業所名 Little Kids Club

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	6			
	2	職員の配置数は適切である	5	1		職員配置は適切に配置できている。職員に配置基準の説明を新年度始めに行う。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	6		ホワイトボードを使い一日の流れをスケジュール化している。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	6		活動終了後はフレイルーム、おもちゃ等、毎日消毒を行い感染症対策としても安全に過ごせるようにしている。	
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	5	1		
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	6			
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	5	1		中途採用の職員への報告が出来ていなかったで行う。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている			6	第三者評価は実施していないが視察や見学研修を通して広く意見を伺うようにしている。今後検討する。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	6			例年よ入りも研修参加が少なかったため職員の研修の機会を増やしたい。
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	6			
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	6			
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	6			
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	6			支援のポイントを会議で職員に周知していく。
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	5	1		常勤職員で行い、年間計画等を提示しているが、非常勤職員に配布する。
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	6			
16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	6				

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	5	1		
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	2	4		支援終了後は行う時間が設けられないので準職員参加の会議開催を増やし支援の共有をする。
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	6		システム導入し、個人情報管理が整理されている。	
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	6			
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	6			
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	6		保健士、通園施設との連携を密に行っている。	
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている				
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている				
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	6		相談員と連携し、モニタリング時期の会議で共有、相互理解している。	
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	6		就学支援シートを活用させていただきながら、会議の中で共有している。	
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	6			
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	6			
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	5	1		
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	6			
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	6			
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	6			
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	6			

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	6			
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	6			
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	6			
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	4	2		ホームページを活用して行く
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	6			
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	6			
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	5	1		
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	6			
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	6			
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	6			
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	6			
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	6			
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	6			
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	6			

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。